



巨大すごろくで環境問題を学ぶ 「親子で地球にやさしくなる教室」を開催

9月21日文化スポーツ複合施設で、「親子で地球にやさしくなる教室」が開催されました。これは、宇都宮大学の社会教育実習生が企画したもので、楽しみながら環境問題に関心を持ってほしいという想いから、巨大すごろくやごみ分別車いすレースなどのプログラムが考案されました。当日は、中高生ボランティア16人が運営をサポートし、会場を盛り上げました。参加者は、「すごろくの内容は少し難しかったけれど、ゴールできてうれしかった」と話しました。



来年も咲き誇れ 八方ヶ原でレンゲツツジ保全活動

9月21日八方ヶ原で、レンゲツツジの枯枝除去作業が行われました。これは、来年も美しい花を咲かせるために毎年実施されているもので、当日は風が強い中、63人のボランティアが参加し、汗を流して作業に取り組みました。参加者は枯枝がなくなってきれいになった景色を眺めながら「毎年、八方ヶ原のレンゲツツジを楽しみにしているので参加した。花が咲くのが待ち遠しい」と話しました。



社会構想大学院大学×矢板市 地域活性化包括連携協定締結

9月24日港区・社会構想大学院大学で、教育と地域づくりの推進に向けた地域活性化包括連携協定の締結式が行われました。これは、地域課題の解決に資する教育・研究活動を推進し、地域と連携した人材育成を行うことを目的としており、研究生たちが、矢板市での現地調査・文献研究・関係者ヒアリングなどから地域課題への具体的な政策提言などを実施しました。今後も、市の持続可能な地域発展にお力添えいただきます。



▲（左から）森島市長、社会構想大学院大学 川山学監

広島建設（株）が401万円寄附 スポーツを通じたまちづくりに活用

9月26日市役所で、企業版ふるさと納税を通じて、401万円の寄附をいただいた広島建設（株）様に感謝状を贈呈しました。寄附金は、「スポーツを通じたまちづくり事業」など、健康で活気あふれるまちの実現や、スポーツを通じたインクルーシブな社会の形成に向けた取り組みに活用していきます。市長は「雇用・経済といった課題に着手し、矢板市を明るくしていきたい」と話しました。



▲（左から）森島市長、広島建設（株）島田代表取締役

市民に寄り添い24年 瀬端 道男行政相談委員が総務大臣表彰受賞

9月29日市役所で、瀬端行政相談委員の「行政相談委員総務大臣表彰」受賞報告会が行われました。行政相談委員は、行政サービスや制度、手続きなどに関する相談を受け付け、相談者への助言や関係行政機関への通知を行っています。瀬端委員は、24年以上にわたり市民に寄り添いながら活動を続けた功績が認められ、模範となる委員として表彰されました。瀬端委員は「多くの方のサポートのおかげ。地道な活動が評価されてうれしい」と話しました。



▲（左から）印南副市長、瀬端行政相談委員、森島市長
◀毎月実施している行政相談の様子

登下校や遠足時の安全確保に クマよけ鈴を全児童に配布

10月6日泉小学校で、「クマよけ鈴」の贈呈式が行われました。これは、全国的にクマの目撃情報や人的被害が発生していることを受け、児童の登下校中などの安全確保を目的に、市内の小学校に在籍する全児童へ配布を行ったものです。泉小学校では、31日の「寺山遠足」に向けて、クマに遭遇した際の対策などについての安全講話も行われました。児童は「思っていたよりも音が響く。安心して遠足に行けそう」と笑顔で話しました。



気をつけて
行ってきます♪

道の駅やいたで新米フェア 地域連携でやまがた舞子凱旋演舞・物産市も開催

9月27・28日道の駅やいたで、新米フェアが開催されました。新米が全品10%引きで購入でき、毎年大好評のイベントです。今回は、（株）チェリーランドさがえと（株）やいた未来との連携協定をきっかけに山形寒河江物産市も同時開催されたほか、前日には矢板高校出身のやまがた舞子 まつりさんが母校で凱旋演舞を披露するなど、フェアのPRも行われました。こうした地域連携の効果もあり、新米フェアは好調な売り上げを記録しました。



▲（左から）（株）チェリーランドさがえ 本間社長、やまがた舞子 まつりさん、森島市長



▲山形寒河江物産市の様子



▲大人気だった山形牛たっぷりの芋煮



高萩市×矢板市 災害時における相互応援協定締結

10月7日高萩市役所で、高萩市との「災害発生時における相互応援に関する協定」の締結式が行われました。高萩市とは、2013年9月の竜巻災害の際に、本市に物資提供の支援をいただいたことをきっかけにご縁が生まれました。今後は、災害時の相互応援体制を強化し、一層の連携を図っていきます。市長は、「竜巻災害時のご厚意によりつながったご縁を、今後の連携に生かし、防災に限らず幅広い分野で連携を深めていければうれしい」と話しました。



◀ 2013年9月、高萩市職員の方々が物資を届けに来てくれた時の様子

▼ (左から) 森島市長、高萩市 大部市長

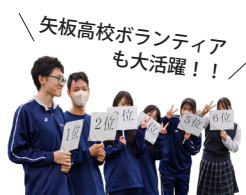


体も心も元気に！ シルバースポーツ大会開催

10月9日リアンビレッジ矢板で、シルバースポーツ大会が開催されました。これは、高齢者のいきがいづくりや体力づくりを目的に市シニアクラブ連合会が主催したもので、借り物競争やパン食い競争、魚釣りゲームなどのレクリエーションで体を動かしながら交流を楽しみました。参加者は「なかなかみんなで集まる機会がないので、毎年の楽しみになっている」と笑顔で話しました。



今年から加わった
魚釣りゲーム！
釣れるかは
運次第…！？



雨にも負けず、謎にも負けず 笠間市子ども会と力を合わせ、宝物をゲット！

10月11日市内で、姉妹都市である笠間市と矢板市の子ども会が体験学習を通して交流を深めることを目的に子ども会交流会が開催されました。当日は図書館や矢板武記念館などに4つの謎を用意。子どもたちは宝をゲットするため、まち歩きをしながら力を合わせて謎を解き、宝箱の鍵を探しました。参加した子どもたちは「謎解きが難しかった」「宝箱を開ける時が、ワクワクして楽しかった」などと話しました。



スポーツの秋、全開！ 矢板市スポーツフェスティバル

10月11日文化スポーツ複合施設・リアンビレッジ矢板で、スポーツフェスティバルが開催されました。会場には、バスケット・サッカー・ソフトテニスなどの球技アトラクションのほか、ニュースポーツや、eスポーツなど、さまざまな体験ブースが午前・午後で入れ替わりながら登場。参加者は「雨の中のサッカーもおもしろかった」「みんなで体を動かすと楽しい」「来年もまた参加したい」などと話しました。



子育て世帯の安心・安全の向上に すみれ幼稚園を福祉避難所に指定

10月17日市役所で、災害時における施設等の利用に関する協定締結式が行われました。これは、一般の避難所では対応が困難な乳幼児や保護者のため、すみれ幼稚園に避難施設として協力いただくもので、児童福祉施設と協定締結し、福祉避難所として指定するのは県内初の試みとなります。岡本園長は「災害に強い施設整備を進めてきたことで今回の協定につながったことは、私たちとしても誇らしい。期待に応えられるよう努めたい」と話しました。



▲ (左から) 印南副市長、森島市長、すみれ幼稚園 岡本園長、岡本理事長

安心して暮らせるまちを目指して 空家対策で市と警察が連携

10月17日市役所で、矢板市における空家等対策に関する協定締結式が行われました。これは、市と矢板警察署が連携して空家対策に総合的に取り組み、生活環境の保全や安全安心なまちづくりを共に目指すことを目的としています。松原署長は「全国的に空家がさまざまな犯罪に利用されることが増えている。矢板市と連携を深め、パトロールの強化などを通して地域の安全安心につなげたい」と話しました。



▲ (左から) 森島市長、矢板警察署 松原署長

2050年カーボンニュートラルの実現へ 矢板市産材を矢板市内の建物に利用促進

10月17日市役所で、市内の公共建築物等における木材利用促進協定締結式が行われました。これは県木材業協同組合連合会と、地元産材の公共建築物などへの利用促進やカーボンニュートラルを推進することを目的としています。当日はヒノキで作られた協定書に署名を交わし、東泉会長は「最近ではコンビニの建物などでも木造化が進んでいる。県産材への注目度も高まっている中で、地元とも協定を締結できてうれしい」と話しました。



▲ (左から) 森島市長、県木材業協同組合連合会 東泉会長

国指定天然記念物ミヤコタナゴ 山田地区で元気に生息、341匹を確認

10月18日山田地区で、ミヤコタナゴ生息状況調査が行われました。調査は、水を抜いた池から生き物をすくい上げ、種類別に個体を数えるもので、山田ミヤコタナゴ保存会の皆さんにご協力いただき、実施しました。また、地域の親子を対象とした観察教室も行われ、参加者はミヤコタナゴの生態や保護について学びました。保存会長は「毎年の調査活動や観察教室を通じて、たくさんの方にミヤコタナゴについて知ってもらえるとうれしい」と話しました。

